

# 枚方市水道施設整備基本計画

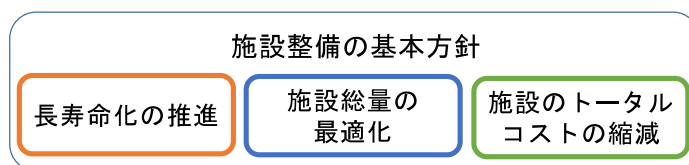
## 1. 計画の概要

効率的かつ効果的な事業推進のため、アセットマネジメント手法を導入した計画で、中長期整備計画と短期整備計画で構成し、平成30年度に策定。

### (1) 中長期整備計画

50年間（H31～R50年）の事業量を概略的に把握し、財政面の影響を確認することで、今後の施設整備の将来のあるべき姿（めざすべき方向性）を定めた計画。

【施設整備の将来のあるべき姿（めざすべき方向性）】



スペックダウン（ダウンサイジング）の検討で  
更新需要の削減

必要な財源の確保

### (2) 短期整備計画

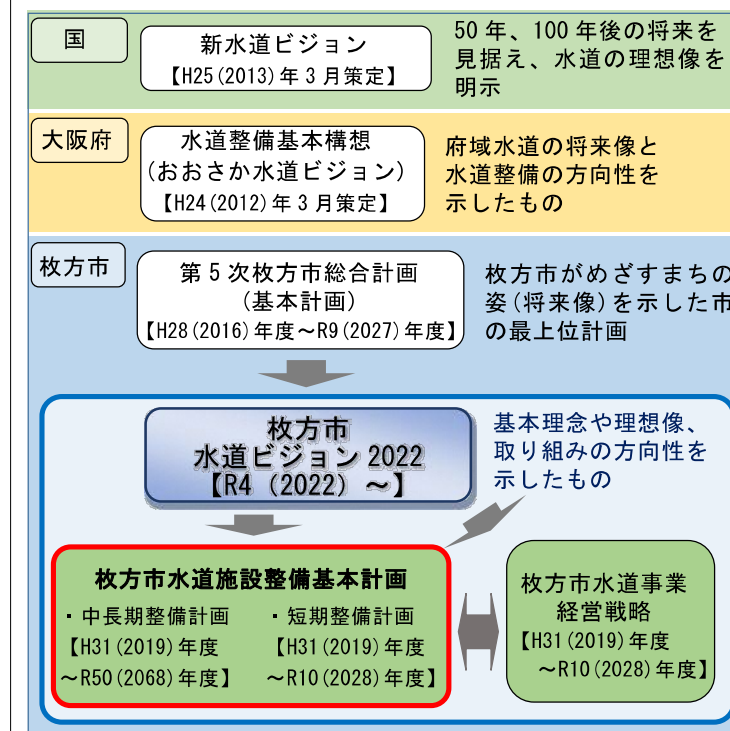
中長期整備計画における投資と財政の見通しに対し、将来のあるべき姿の実現のための施策を示し、重要度や緊急度等を考慮して、10年間（H31～R10年）で実施すべき内容を記載した実行計画。

枚方市水道事業経営戦略と整合を図っている。

【将来のあるべき姿の実現のための施策】

- ① 効率的な維持管理の推進
- ② 水道施設・管路の計画的な更新・改良
- ③ 水道施設・管路の耐震性の向上
- ④ 水道施設・管路のスペックダウン（ダウンサイジング）
- ⑤ ライフサイクルコストの削減に配慮した機器・設備の購入
- ⑥ 民間活力の導入
- ⑦ 環境に配慮した取り組みの更なる推進
- ⑧ 経営戦略に基づく投資と財政の均衡

## 2. 計画の位置付け



【具体的な取組（主な整備）】

- ・ 中宮浄水場の更新
- ・ 鷹塚山配水場、津田低区配水場、妙見山配水池、大池配水場の更新・耐震化
- ・ 導水管の耐震化
- ・ 中宮～春日、春日～津田低区送水管の整備
- ・ 重要給水施設への供給ルートの耐震化
- ・ 計画的な配水水支管の更新に合わせた鉛製給水管の解消

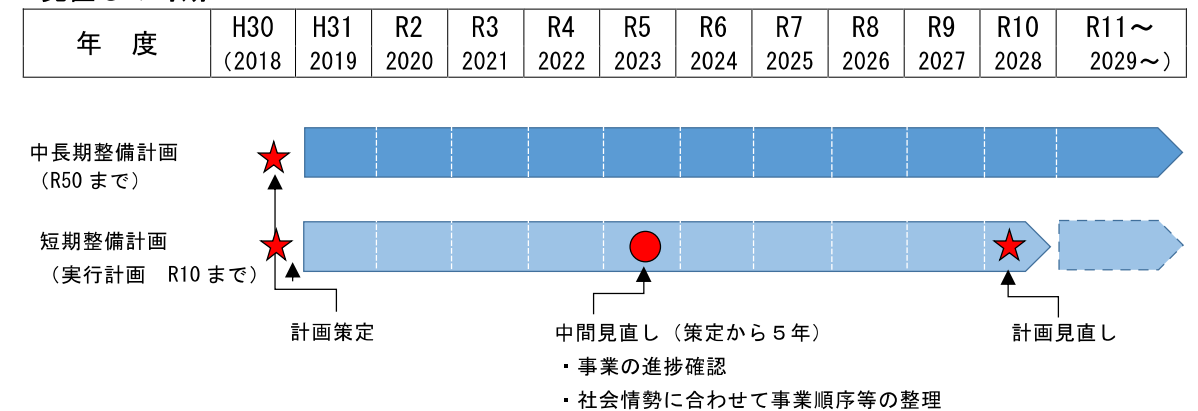
など

【数値目標（H30⇒R10）】

- ・ 配水池耐震化率 53.5 ⇒ 79.4%
- ・ 導水管の耐震化率 3.4 ⇒ 100%
- ・ 送水管耐震化率 30.0 ⇒ 36.9%
- ・ 重要給水施設（最重要）への供給ルート耐震化率 34.4 ⇒ 59.6%
- ・ 鉛製給水管残存率 16.2 ⇒ 11.2%

など

## 3. 見直しの時期



## 4. 社会情勢の変化及び課題

【社会情勢の変化】

- ・ 水道法の改正（関係者の責務の明確化、広域連携の推進、適正な資産管理等を規定）
- ・ 和歌山市における水管橋崩落等を契機に厚生労働省の「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」が改訂
- ・ SDGs や 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言など社会目標実現
- ・ 物価高騰（資材費の高騰）

【課題】

- ・ 事業スケジュールの変更等による事業進捗（目標指標）の遅れ
- ・ 水道施設・管路の経年化（対策のための事業量増加）
- ・ 物価高騰などによる事業費の増加
- ・ 水道事業経営戦略（財政計画）との均衡

## 5. 計画見直しの考え方

社会情勢の変化や課題によって、中長期整備計画で示した「今後の施設整備の将来のあるべき姿（めざすべき方向性）」に基づき整備に取り組んでいくことに変更はない。

実行計画である短期整備計画で示した「将来のあるべき姿（めざすべき方向性）」の実現のための施策」の内容に変更はないものの、これまでの事業進捗や物価高騰などに対応するため下記を考慮し、中間見直しを行う。

- ・ 耐震化率などの目標指標の見直し
- ・ 物価高騰を考慮した計画の見直し（経営戦略との均衡）
- ・ 事業順序の整理
- ・ 水管橋長寿命化の具体的取組を反映

# 枚方市下水道整備基本計画

## 1. 計画の概要

平成 30 年度に策定した枚方市下水道事業経営戦略の新たな投資・財政計画との整合を図りながら、老朽化対策をはじめとする様々な事業を進めていく必要があることから、下水道整備事業における整備事業の重点項目を示し、基本的な考え方をまとめた計画。

「枚方市下水道事業経営計画」における事業実施計画の後継計画として令和 2 年度に策定。

### 【整備事業の重点項目】

- ① 老朽化対策  
管渠、ポンプ場の老朽化対策、雨天時浸入水対策
- ② 地震対策  
管渠、ポンプ場の地震対策
- ③ 雨水整備  
10 年確率降雨に対応した整備、局所的な浸水対策
- ④ 汚水整備  
新規汚水整備、整備課題地区の整備

### (1) スtockマネジメント計画

枚方市下水道整備基本計画の重点項目①老朽化対策の実行計画であり、中長期的な施設の劣化進行を予測しながら、維持管理と改築や更新を一体的に捉えて計画的・効率的に進めていくための計画。

管路やポンプ場施設のリスク評価等による優先順位で5年間（H31～R5）に実施する点検・調査と修繕・改築の内容を記載しており、下水道事業経営戦略と整合を図っている。

国費（防災・安全社会資本整備総合交付金）要望の根拠となる計画のため、5か年ごとに策定する。

### (2) 総合地震対策計画

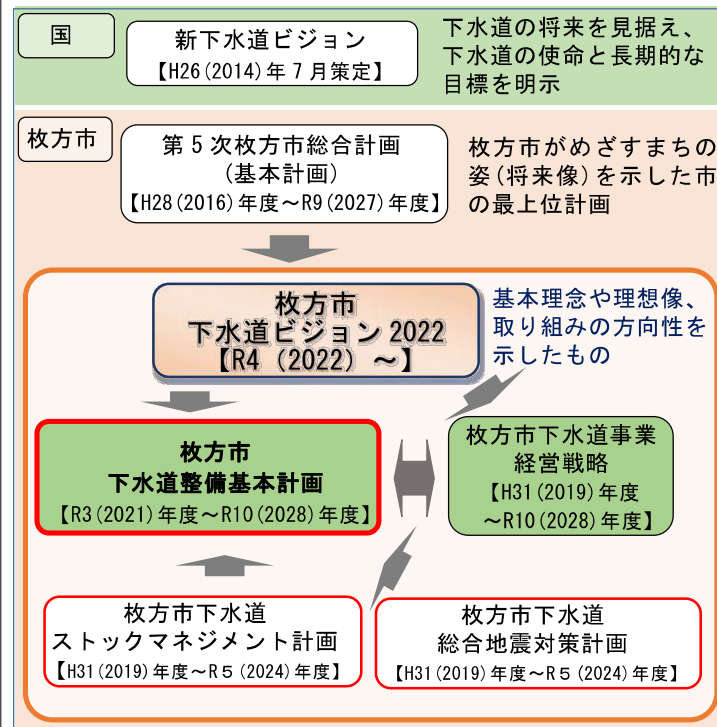
枚方市下水道整備基本計画の重点項目②地震対策の実行計画であり、重要な下水施設の耐震化を図る「防災」、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた計画。

5年間（H31～R5）に実施する耐震事業の内容を記載しており、下水道事業経営戦略と整合を図っている。

国費要望（防災・安全社会資本整備総合交付金）の根拠となる計画のため、5か年ごとに策定する。

※重点項目の③雨水整備及び④汚水整備については下水道法に基づく事業計画に基づき、実施している。

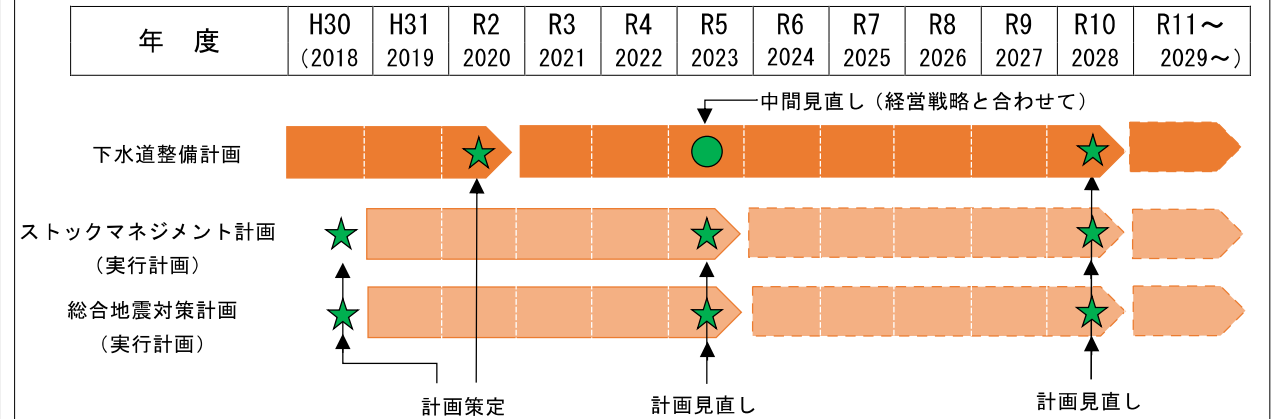
## 2. 計画の位置付け



### 【具体的な取組】

- (1) スtockマネジメント計画
  - 管路施設の点検・調査  
人孔点検 約 23,000 箇所  
カメラ調査 約 20 km
  - ポンプ場施設（電気設備、機械設備）の点検
  - 点検・調査に基づく改築 669m
- (2) 総合地震対策計画
  - 重要な幹線等、管路施設の耐震診断・管路調査 1.546 km
  - 雨水ポンプ場、汚水中継ポンプ場等の耐震診断 5 施設
  - 耐震診断・管路調査に基づく管路施設の耐震化
  - 耐震診断結果に基づくポンプ場等の実施設計・耐震補強（耐震診断済みの 3 施設を含む）

## 4. 見直しの時期



## 5. 社会情勢の変化及び課題

### 【社会情勢の変化】

- 新下水道ビジョン加速戦略（令和 4 年度改訂版）
- 下水道法の改正（水災害の激甚化・頻発化、気候変動の影響等を踏まえた流域治水関連法）
- SDGs や 2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言など社会目標実現
- 物価高騰（資材費の高騰）

### 【課題】

- 下水道施設・管路の経年化（対策のための事業量増加）
- 物価高騰などによる事業費の増加
- 下水道事業経営戦略（財政計画）との均衡

## 6. 計画見直しの考え方

社会情勢の変化や課題によって、整備基本計画で示した老朽化対策、地震対策、雨水整備、汚水整備といった「重点項目」に取り組んでいくことに変更はない。

実行計画であるストックマネジメント計画や総合地震対策計画で示した事業内容は5年間で国費（防災・安全社会資本整備総合交付金等）を活用し、進めていく事業であるため、毎年の国費額への対応や耐震診断含む点検・調査の結果、物価高騰などに対応するため、下記を考慮し、計画見直しを行う。

- これまでの点検・調査に基づく改築事業の反映
- 物価高騰を考慮した計画の見直し（経営戦略との均衡）
- 事業順序の整理